

## 学協会ファイル

### 日本RPF工業会

#### 1. 概要

(一社)日本RPF工業会は、平成15年に任意団体として設立された日本RPF工業会を継承し平成24年に設立された。正会員（RPFの製造販売事業を営む法人・個人）と賛助会員とで構成され、会員間でのRPFの情報の共有と施策の充実を図り、関連する企業の発展と、国内で製造されたRPFを国内ユーザーに供給することで国内産業の発展に貢献し、循環型社会の構築推進に貢献することを目的とする。

#### 2. 社会の要請に応える固形燃料RPF

RPFは「Refuse derived Paper & Plastics densified Fuel（紙・プラスチック由来の廃棄物固形燃料）」はマテリアルリサイクルが困難な古紙、廃プラスチックを主原料とする。同じカロリーを得るのに石炭を利用した場合に比べCO<sub>2</sub>排出量を約33%削減できる。1970年代の石油ショックによる資源不足、燃料価格の不安定化により新たな燃料が期待され、1997年の京都議定書合意により温室効果ガス削減が急務となり、同年「新エネルギー利用促進法」第一号事業認定を受け産声を上げた。

現代社会の要請は、①地球温暖化対策としてCO<sub>2</sub>排出量削減、②原子力に代わるエネルギー源の確保、③(東日本大震災後の)エネルギー源輸入増加による貿易収支の改善、④国土環境保全などである。RPFは環境に配慮する熱エネルギー源として製造業、発電に利用され、国内産優良燃料として輸入化石燃料に代替し貿易収支の改善にも貢献している。また従来埋立て処分されていた廃棄物も原料とし、東京ドーム10個分の最終処分廃棄物を抑制し、国土環境保全にも貢献している（NEDO 実用化ドキュメント2014年より）。

#### 3. 活動内容

当工業会の主要な活動は以下の通りである。

- ① 会員に対して各種情報発信、防災・安全作業の啓蒙、製品品質技術支援などの活動
- ② 経産省、環境省などの行政機関、規格制定機関（JIS、ISOなど）などとの活動

③ 産業界、ユーザー団体との情報・要望事項などの交換

④ RPF業界の社会的認知度向上のための広報活動

具体的には、年次総会に先立ち環境課題などについての講演会を開催している。

技術品質分科会では会員会社や製紙会社などのユーザーの工場見学会を通し、ユーザーの要望を伺い、工場での品質・生産性を中心とした製造技術を学ぶ機会を設けている。また、技術品質勉強会では講演や会員の事例報告なども交え技術力向上の一助としている。安全衛生委員会では安全大会を開催し、防災対策専門家の講演の他、会員の事例報告会など防災・安全啓蒙活動を行っている。加えてNew環境展に出展し、国内外を問わずRPFを紹介している。RPFは長年の実績によりJIS規格化されたが、近年の世界的廃棄物利用への関心が高まる中、廃棄物燃料のISO規格化にも取り組んでいる。

#### 4. 課題と対応

地球温暖化対策、限られた化石資源の有効活用が地球規模での課題となっている。業界内に目をやれば、火災を防止し人手作業を含めた安全操業が課題となっている。当工業会が主体となり安全操業への啓蒙活動を行っている。また、廃棄物の有効利用への関心が高まり、RPF生産量は年々増加しているが、それに伴う需要喚起も将来的な課題となる。RPFを「循環型社会の構築に貢献する再生可能エネルギーのひとつ」として、RPFへの社会的関心を高めることも役割と考えている。

- 団体名称：日本RPF工業会  
(略称) (JRF)
- 代表者名：長田 和志
- 所在地：東京都千代田区鍛冶町1-9-2
- 電話番号：03-6206-8000
- URL：<http://www.jrpf.gr.jp/>